

## 「放送大学同窓会への情報公開請求」のその後

はじめに

26年5月の総会で監査であった私は「(会長は総会が終わらないと困ると思い)監査の印は押すが放送大学から助成金が交付されるようになった23年からの放送大学への実施報告書の開示を求める」とした。私はその存在さえ知らされていなかったからである。ところが、吉池照子長野同窓会長は、その開示を拒否し続けた。仕方なく警察、文科省、放送大学、同窓会連合会、弁護士まで依頼した。

5年経過後、吉池照子会長(30年5月まで会長)は開示させられた。放送大学は開示しないわけにはいかないからである。開示させてみれば助成金を全会員に知らせず会長を取り巻く一部会員で使用していた。又、一部不正使用も判明した。

放送大学は30年9月3日長野同窓会に何点かの改善を求めたが、今だ、長野同窓会から改善の報告がない。25年度以後の会員はこの真実を知らされていない。吉池照子氏は会長在任中、この問題が発覚してから名簿を非公開にしてしまったからである。2019年6月2日の総会には13名出席したのみ。以下に記す。

記

### 1.書類開示でわかった事

- ★ 同窓会へ来た公金であるので全会員に知らせて使用しなければならないはずであるが会長を取り巻く一部会員で使用していた。又、吉池夫妻(前会長)の使用が目立った。
- ★ 吉池前会長は2014年1月11日に諏訪市で行われた会議に交通費を不正使用していた。
- ★ 村前前会長(現事務局長)も23年2月18日長野市で行われた講演会の旅費使用に当たり会長を取り巻く一部の人で助成金を使用していた。私は当日、出席していたが助成金の話を聞いてもいないし、もらってもいなかった。

私の情報開示請求で、村会長(当時)は放送大学への報告にミスをしていたことが判明した。放送大学へ交通費を支払った人の氏名が未報告になっていた。

又、23年からのすべての書類の氏名が明らかにされているのに、この書類のみ氏名が黒塗りであった。山崎他1名はなぜこの文書のみ黒塗りなのか、その理由の説明を求めている。

### 2.今だ、出さない書類がある——平成25年3月20日松本市で行われた講演会参加の旅費の書類で

ある。会計(当時、現山田美智子会長)が私に旅費の領収書を見せた。その時初めて助成金が来ている事を知らされた。そして、全会員に知らせず使用している事を知り苦言を呈したが承認はした。その時の監査資料を再度確認したいと要請しているが見せない。

注:前吉池会長は令和1年6月2日の総会で「3月20日の旅費は自分たちで出した」と言った。前述の如く私は旅費領収書を見て苦言を呈したが承認している。そうだとすれば監査の後に書類を修正してあるのではないかと疑いたくなる。監査は無効であり総会も無効となる。

### 3.放送大学の改善指導(添付する)

放送大学は吉池前会長に対し「2014年1月11日の交通費不正使用について」長野同窓会に金を返還し、助成金修正報告書を放送大学に提出する事としているが、山崎他1名に提出されたとの報告はない。

放送大学は村前前会長(現事務局長)が「23年2月18日長野市で行われた際の交通費について」は「情報公開に関する法律」を理由にして氏名の開示をしないが、この文書のみ公開示しないのはおかしいので山崎他1名は説明を求めている。

放送大学は山田美智子会計(現会長)に対し「平成25年3月20日松本市で行われた際の交通費について」回答するように指導。しかし、今だ、山崎他1名は回答を受けていない。

開示請求をしてみたら——前々会長(村会長)、前会長(吉池会長)、現会長(山田会長)は書類の提出に抵抗してきたが遂に出させた。放送大学は長野同窓会がいくら抵抗しても出さざるを得ない。

追及してみれば村、吉池、山田各会長の三人が「全会員に知らせず一部の人で助成金を使用した」事を隠す為に、書類の開示に抵抗していたのであろうか。

そして今も放送大学の指導指摘を修正処理していない。25年から令和1年まで7年が経過している。

こんな結果になるとは思っていなかった。監査の必要性を痛感する。私が指摘しなければ、会員に言わず3役を軸に助成金を使用していたのであろうか。助成金は長野同窓会の一年間の予算額と同額きていた。

金の大小は関係なく、末端の助成金の事務処理ができていなければ、不正使用である。現在、各自治体では過去の事でも、又、1円の違いでも議会にかけ謝罪し修正をしていた。しかし吉池前会長は放送大学連合会会報(27.10.3号)に「長野同窓会は何も間違った事はしていない」と記した。又、吉池前会長は令和1年6月2日の総会会場で「文科省も放送大学も同窓会連合会も誰も困っていない。」という趣旨の発言をしていた。

この問題に関して私はもとより警察、文科省、放送大学、同窓会連合会、弁護士と多くの方々が時間を浪費しなければならなかった。

とはいえ最終責任は文科省になる。指導がきちんとしていないので末端が実行しないのである。吉池前会長は放送大学の全学部を終了しているとの事であるが放送大学は何の教育をしていたのか。

なお放送大学はこの助成金を「公金でない」としているが、私は「公金」と推測し、再度文科省に質問している。この助成金は放送大学教育振興会より出され同会は文科省の所管となっている。この他にも研究費等多額の交付金各所に出されている。長野同窓会の事務処理が「良」とされると

したら他の部所においても、ずさんな事務処理がなされている可能性があるといえる。以上

**添付書類添付書類**

1. 放送学園から山崎に届いた 30 年 9 月 3 日付の送付の書類
2. 39 年 6 月 15 日にホームページに掲載した文書